

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月1日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ディーエムエス
 コード番号 9782 URL <http://www.dmsip.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部部长代理
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 山本 克彦
 (氏名) 橋本 竜毅

TEL 03-3293-2961

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	12,335	△5.2	703	45.7	669	52.0	351	74.0
24年3月期第3四半期	13,009	5.7	483	55.1	440	52.9	202	85.6

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 352百万円 (72.3%) 24年3月期第3四半期 204百万円 (108.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	60.39	—
24年3月期第3四半期	34.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%			円 銭	
25年3月期第3四半期	12,270		6,894	56.2			1,183.93	
24年3月期	13,189		6,629	50.3			1,138.36	

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 6,894百万円 24年3月期 6,629百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	18,200	1.7	860	8.2	810	10.8	453	29.6	77.78	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	7,262,020 株	24年3月期	7,262,020 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	1,438,616 株	24年3月期	1,438,491 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	5,823,451 株	24年3月期3Q	5,823,529 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要による下支えがあった一方、欧州債務問題の長期化や中国をはじめとした新興国経済の減速などの影響により、先行き不透明な状態で推移いたしました。

当社グループ（当社および当社の子会社）に関連する広告業界におきましては、こうした状況ではあったものの、顧客企業における販促企画の需要は堅調に推移し、前年に比べて回復傾向が見られる状況となりました。

このようななか当社は、引続きダイレクトメール・SP・イベントなどの事業領域において積極的な営業展開や現場の生産性向上を図るとともに、新たにウェブ・モバイル関連サービスなどの事業領域拡大にも努めてまいりました。また、昨年度に開発した「通販・EC出荷代行サービス」「DM送付最適化サービス」などの営業強化を併せて行ってまいりました。

この結果、当四半期連結累計期間の連結売上高は、123億35百万円（前年同期比5.2%減）となりました。連結営業利益は、主にカード発行業務や中元、歳暮業務のほか新たな取り組みである通販出荷代行業務の貢献によって操業度が向上したことと、販売管理費が前年同期に比べて97百万円減少した結果、7億3百万円（同45.7%増）となりました。連結経常利益は、営業外収益が19百万円（同4.3%増）、営業外費用が53百万円（同12.3%減）となった結果、6億69百万円（同52.0%増）となりました。連結四半期純利益は、税金費用を1億97百万円としたことにより3億51百万円（同74.0%増）となりました。

セグメントの業績については次のとおりであります。

①ダイレクトメール部門

企画制作から情報処理、封入封緘を一括して手がけるトータルサービスと郵便やメール便のスケールメリットを活かした提案型営業を積極的に展開した結果、売上高は、110億80百万円（同6.7%減）と震災により延期されていた販促活動の再開需要を取り込めた前年同期に届かなかったものの、セグメント利益は操業度の向上によって9億17百万円（同7.8%増）となりました。

②セールスプロモーション部門

各種販促支援および企画制作業務の新規受注に努めた結果、売上高は8億51百万円（同3.3%減）となりました。一方、セグメント利益は盛況に推移した一部の会員獲得プロモーションや飲料系販促プロモーションがキャンペーン業務の操業度を高めたことなどにより1億42百万円（同37.2%増）となりました。

③イベント部門

震災によって中止となっていたイベントの再開や販売促進・スポーツイベントなどの運営・警備業務に注力した結果、売上高は3億42百万円（同57.7%増）、セグメント利益は12百万円（前年同期セグメント損失11百万円）となりました。

④賃貸部門

千代田小川町クロススタビル（東京都千代田区）等の売上高は43百万円（68.3%増）、セグメント利益は4百万円（前年同期セグメント損失18百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産の状況

当四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて主に現金及び預金が2億72百万円、売上債権が4億81百万円減少したことにより、全体として44億71百万円（前連結会計年度末比8億6百万円減）となりました。

当四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて主に減価償却費の計上等で有形固定資産および無形固定資産が4百万円減少したことに加え、保険資産1億8百万円が減少したことにより、全体として77億86百万円（同1億10百万円減）となりました。

当四半期連結会計期間末の繰延資産は、社債発行費が13百万円（同2百万円減）となりました。

その結果、資産合計では、122億70百万円（同9億19百万円減）となりました。

②負債の状況

当四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて主に仕入債務が5億25百万円、未払消費税が1億7百万円、未払法人税等が2億9百万円、賞与引当金が97百万円それぞれ減少したことにより、全体として25億78百万円（同8億98百万円減）となりました。

当四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて主に社債が67百万円、長期借入金が2億51百

万円それぞれ減少したことにより、全体として27億97百万円（同2億85百万円減）となりました。

その結果、負債合計では、53億75百万円（同11億84百万円減）となりました。

③純資産の状況

当四半期連結会計期間末の純資産は、主に利益剰余金では連結四半期純利益3億51百万円から配当87百万円を差し引いた2億64百万円が前連結会計年度末に比べて増加したことにより、全体として68億94百万円（同2億65百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月29日発表の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,600,661	1,327,878
受取手形及び売掛金	2,917,092	2,435,925
仕掛品	220,109	319,650
立替郵送料	158,171	116,020
繰延税金資産	118,181	72,881
その他	264,117	201,793
貸倒引当金	△326	△3,002
流動資産合計	5,278,007	4,471,147
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,946,903	2,828,013
機械装置及び運搬具(純額)	278,632	340,009
土地	2,830,100	2,830,100
リース資産(純額)	67,072	114,291
その他(純額)	63,697	59,125
有形固定資産合計	6,186,406	6,171,540
無形固定資産		
投資その他の資産	45,745	55,661
投資有価証券	421,353	426,201
投資不動産(純額)	1,003,526	977,455
繰延税金資産	—	12,482
その他	250,316	231,858
貸倒引当金	△11,069	△88,961
投資その他の資産合計	1,664,125	1,559,036
固定資産合計	7,896,278	7,786,238
繰延資産		
社債発行費	15,405	13,060
繰延資産合計	15,405	13,060
資産合計	13,189,691	12,270,446

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,774,857	1,249,711
1年内償還予定の社債	90,150	90,150
短期借入金	525,656	500,656
リース債務	19,066	31,091
未払法人税等	265,219	55,595
賞与引当金	211,520	113,545
その他	591,255	538,100
流動負債合計	3,477,726	2,578,850
固定負債		
社債	612,700	545,050
長期借入金	1,897,702	1,645,959
リース債務	64,993	113,905
退職給付引当金	351,878	353,290
役員退職慰労引当金	68,690	54,816
繰延税金負債	9,624	6,923
再評価に係る繰延税金負債	21,332	21,332
その他	55,761	55,761
固定負債合計	3,082,682	2,797,038
負債合計	6,560,408	5,375,889
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,092,601	1,092,601
資本剰余金	1,468,215	1,468,215
利益剰余金	5,449,769	5,714,124
自己株式	△582,552	△582,600
株主資本合計	7,428,032	7,692,340
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,643	19,609
土地再評価差額金	△817,392	△817,392
その他の包括利益累計額合計	△798,749	△797,783
純資産合計	6,629,283	6,894,557
負債純資産合計	13,189,691	12,270,446

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	13,009,455	12,335,869
売上原価	11,540,222	10,743,222
売上総利益	1,469,233	1,592,647
販売費及び一般管理費	985,950	888,679
営業利益	483,282	703,967
営業外収益		
受取利息	346	252
受取配当金	9,443	9,137
雑収入	8,904	10,113
営業外収益合計	18,694	19,503
営業外費用		
支払利息	59,216	51,559
その他	2,312	2,407
営業外費用合計	61,528	53,966
経常利益	440,448	669,504
特別利益		
賃貸借契約解約益	—	4,821
退職給付制度終了益	5,084	—
特別利益合計	5,084	4,821
特別損失		
固定資産除却損	1,780	1,427
投資有価証券評価損	43,333	—
社葬費用	—	28,038
貸倒引当金繰入額	—	85,961
その他	—	9,742
特別損失合計	45,114	125,169
税金等調整前四半期純利益	400,418	549,156
法人税、住民税及び事業税	106,295	171,211
法人税等調整額	91,951	26,236
法人税等合計	198,246	197,447
四半期純利益	202,171	351,708

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
四半期純利益	202,171	351,708
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△449	966
土地再評価差額金	3,022	—
その他の包括利益合計	2,573	966
四半期包括利益	204,745	352,675
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	204,745	352,675

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイレクト メール部門	セールス プロモーション部門	イベント 部門	賃貸部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,873,347	881,091	217,120	25,970	12,997,529	11,925	13,009,455
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,168	1,477	—	90	2,736	15	2,751
計	11,874,515	882,568	217,120	26,060	13,000,266	11,941	13,012,207
セグメント利益又は損 失(△)	850,910	103,594	△11,762	△18,699	924,042	1,170	925,212

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家電製品販売を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	924,042
「その他」の区分の利益	1,170
セグメント間取引消去	△2,751
全社費用(注)	△439,139
棚卸資産の調整額	△39
四半期連結損益計算書の営業利益	483,282

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイレクト メール部門	セールス プロモーション 部門	イベント 部門	賃貸部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,080,282	851,613	342,384	43,703	12,317,983	17,886	12,335,869
セグメント間の内部 売上高又は振替高	722	1,027	—	90	1,839	102	1,941
計	11,081,004	852,640	342,384	43,793	12,319,822	17,988	12,337,811
セグメント利益	917,076	142,151	12,285	4,709	1,076,223	7,008	1,083,231

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家電製品販売を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,076,223
「その他」の区分の利益	7,008
セグメント間取引消去	△1,941
全社費用(注)	△377,316
棚卸資産の調整額	△5
四半期連結損益計算書の営業利益	703,967

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。